

都議会閉幕

都は震災予防の立場を

12年度予算可決 かし議員が指摘

東京都議会は29日の最終本会議で、▽東京外郭環状道路や巨大港湾建設、2020年オリンピック招致を進める一方、防災対策や福祉は不十分な12年度一般会計予算▽認可保育所の面積基準切り下げを認める条例▽土地信託事業「面国シティコア」の期間を5年間延長し、都が債務の一部、13億円を肩代わりする契約変更―を民主、自民、公明3党、生活者ネット・みらいなどの賛成多数で可決し閉会しました。日本共産党は反対しました。

また、築地市場(中央区)の東京ガス工場跡地(江東区豊洲)への移転を進める中央卸売市場会計予算など3件を民、自、公3党の賛成多数で可決。日本共産党、ネットのほか民主党から11人が造反し反対しました。

民主党は09年都議選の「築地市場の移転に民主党はNO!」との公約を裏切りました。討論に立った日本共産党の、かち佳代子都議は一般会計予算案について、東日本大震災の被災者支援や防災力強化、放射能対策、都民の暮らしと福祉、中小企業・雇用対策など都政が行うべき緊急課題からかけ離れていると指摘。都が震災を予防する立場にしっかりと立つよう求めました。

生鮮食品品を扱う築地市場の豊洲移転についても、石原慎太郎知事が予定地の土壌汚染を軽視し、専門家から「絵に描いたもち」と酷評される欠陥土壌汚染対策の見直しを拒否してきたことを批判。都民と関係者が求める現在地再整備に立ち返るよう主張しました。

防災・暮らし後退予算

都議会 かし議員が反対討論



日本共産党のかち佳代子都議は29日の都議会最終本会議で、2012年度都一般会計予算案や築地市場の移転を進める中央卸売市場会計予算など26議案に反対する討論をしました。

かち氏は石原慎太郎知事が震災予防計画事業費を1997年度の1兆円から10年度は約5200億円に半減させた。

かち氏は、党都議団の調査で都立水元公園の土壌から1キログラムあたり最高2万3000ベクレルのセシウムが検出されたことをあげ、都施設の詳細調査と局所汚染への総合的対策を講ずるよう求めました。

かち氏は、保育施策の重大な後退である認可保育園の0〜1歳児

せ、耐震改修助成の実績は5年間で300戸にすぎず、木造住宅の3割以上が耐震基準を満たしていないと指摘しました。

るよう強調。震災や放射線の危険性を隠す都の姿勢に「オリンピック招致のためには、東京は安全だと言わなければならぬ」とする知事の政治的意図が強く働いている」と指摘し、防災・放射能対策に必要な財源を投入するよう求めました。

の面積基準を緩和することや、築地市場を、生鮮食品を扱う市場にふさわしくない土壌汚染地の江東区豊洲

に移転を強行することや、築地市場を厳しく批判しました。

かち氏は、党都議団の予算組み替え案は、知事提案の東日本大震災に対応する防災対策を50%のばし、国保料、介護保険・後期高齢者医療の保険料の軽

減、都営住宅の新規建設などを盛り込み、都民の願いにこたえる方向を示したものと強調しました。

の付帯決議では豊洲の安全性は保証されない。都は2年前の豊洲付帯決議も破っている」と語る議員もいます。

民主議会

「築地」予算案に賛成

50人中11人は「反対」

東京都議会民主会(50人)の38人が29日の都議会本会議で、石原慎太郎知事が提案した

た築地市場(中央区)を江東区豊洲に移転する予算案に付帯決議をつけて賛成したものの

11人が反対し、混乱しました。

反対した議員には馬場裕子団長ら役員4人もおり、本会議前に執行部に役員辞任届を出したといひます。本会議後、関口太一

議員は記者団に対し「(汚染物質の)モニタリングをして、完全にきれいになるのならば開場すべきだ」というが、安全が確認できない限り賛成できない」と語りました。「議会

市場予算案に反対したのは馬場、関口両氏のほか、鈴木勝博、田之上郁子、松下玲子、栗下善行、西沢圭太、柳ヶ瀬裕文、滝口学、小山有彦、篠塚元の名氏。